

第5・6学年 道徳科学習指導案

日 時：令和元年12月13日（金）5校時

児 童：5年 3名

6年 1名 計4名

指導者：〇〇 〇〇

1 主題名

第5学年	第6学年
困った人の身になって【B-(7)親切、思いやり】	親切の大切さ【B-(7)親切、思いやり】

2 資料名

第5学年	第6学年
『くずれ落ちた段ボール』 東京書籍「新しい道徳5」	『心に通じた「どうぞ」のひとこと』 東京書籍「新しい道徳6」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について(授業者の価値観)

第5・6学年(共通)
本主題は、内容項目「B 主として人との関わりに関すること」の「(7) 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」を扱うものである。「誰に対しても思いやりの心をもつ」ことは、自分の周囲の人たちだけでなく、公共の場所などにおいて、誰にでも思いやりの心をもつことである。そのためには、相手の立場に立ち、自分がどのように関わるのが、相手のためになるかを深く考える必要がある。しかし、見ず知らずの相手に対し、相手の心情を慮り、親切にすることは容易ではない。人間関係の深さの違いや考え方の違いを乗り越え、思いやりの心を持ち、誰に対しても親切にしようとする心情を育てる必要がある。

(2) 児童の実態(児童観)～省略

(3) 教材について(教材観)

第5学年	第6学年
本資料は、「わたし」と友子が、スーパーでおばあさんとその孫に出会う。孫は通路に積んであった段ボール箱を崩してしまう。孫が先に行ってしまう、戸惑いながらも一人で段ボールを片付けるおばあさんを周囲の人は誰も手伝わない。そこで2人は片付けを手伝う。しかし、事情を知らない店員に2人は怒られてしまい、すっきりしないまま時を過ごす。冬休み明けの全校朝会で店員からの手紙を知り、2人の心は明るくなる、という話である。本時は、たとえ人に認められなくても、相手のことを思いやり、誰に対しても親切にしようとする大切さに気付けるようにしたい。そのために「もし、手紙が届かなかったら、また、困っている	本資料は、母からの用事を済ませるために列車に乗っている「ぼく」が、目の前に立ったおじいさんに席を譲ろうと立ったが、「どうぞ」の一言が言えず、無言でその場を離れてしまった。その後、その席には別の人が座ってしまい、「どうぞ」が言えなかったことを後悔する。しかし、しばらくして、おじいさんからお礼を言われて温かい気持ちになる、という話である。本時は、席を譲ろうとした時の心の葛藤や、お礼を言われた時の気持ちを考えることを通して、相手のことを思いやり、誰に対しても親切にしようとする大切さに気付けるようにしたい。そのために「もし、おじいさんからお礼を言われなかったら、また、

人に親切にすることができるだろうか。」という中心発問をする。この中心発問により、親切とは、困っている人を助けたいという思いやりの心の現れであり、見返りとは関係なく、誰に対しても親切にしたいという気持ちをもつことの大切さを理解することに繋げたい。	誰かに親切にすることができるだろうか。」という中心発問をする。この中心発問により、親切とは、困っている人を助けたいという思いやりの心の現れであり、見返りとは関係なく、誰に対しても親切にしたいという気持ちをもつことの大切さを理解することに繋げたい。
--	---

4 ねらい

第5学年	第6学年
主人公の、見返りとは関係なく、困っている人に親切にする姿を通して、相手のことを思いやり、誰に対しても親切にしようとする心を育てる。	主人公が相手のことを思いやり、不器用ながらも親切にする姿を通して、相手のことを思いやり、誰に対しても親切にしようとする心を育てる。

5 授業のポイント

第5学年	第6学年
○内容項目を深く意識させるための工夫 ・導入段階で先に本時のキーワードを示すことにより、今日の授業を通して考えなければならないことを明確にする。 ○当事者意識をもって考えさせるための工夫 ・資料の内容を自分ごととして捉えるために、資料はあらすじのみを紹介し、自分ならどうするかを考えさせる。また、発問を「自分なら～」の形式にし、自分ならどうするか考えるように促す。 ○考えを深め、自己の生活と結びつけるための工夫 ・授業の最後に道徳カードを活用し、授業で考えたことをまとめ、振り返る時間を確保することで、今日の授業で考えたことと今後の生活を結びつけて考えられるようにする。 ○少人数学級において、考えを広げるための工夫 ・内容項目を揃えることにより、導入とまとめを合同で行い、多様な考えに触れ、自分の考えを広げられるようにする。 ・授業の導入とまとめでマッピングを利用することにより、自分の考えの広がりを視覚化し、実感できるようにする。 ・他校と連携し、児童の感想や意見を集め、紹介することで、多様な考えに触れ、自分の考えを広げられるようにする。	

6 本時案

時間	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の動きや反応、☆教師の働きかけ)	指導上の留意点 (■評価、◆内容項目に迫るための手立て、※留意点)	直接 or 間接指導	指導上の留意点 (■評価、◆内容項目に迫るための手立て、※留意点)	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の動きや反応、☆教師の働きかけ)	時間
導入	☆キーワードの発表 ○「親切」と聞いて思い浮かぶことを自由に連想して、書きましょう(マッピング)。 発表 ☆「親切」について考えることを意識づけ、各学年の学習に入る。					導入
展開前半	☆資料の紹介 ☆内容の確認 ○困っているおばあさんを見て、自分ならどんなことを考えるだろう。 ・困っているな。・手伝おうかな。 ・だれか手伝わないのかな。・どうしよう。 ○店員に注意された時、自分なら、どんな気持ちになるだろう。 ・せっかく手伝ったのに。・私じゃない！ ・がっかり。 ○校長先生が手紙を読んでいるのを聞いて、自分なら、どう思うだろう。 ・やってよかった！・誤解が解けてよかった ・また親切にしよう。	◆時間短縮のため、あらすじのみ紹介し、自分だったらどうかを考えるように指示する。 ◆ワークシートに記入する。		◆ワークシートに記入する。ワークシートは事前に配付し、間接指導時に進められるようにする。 ◆他校の児童の考えを紹介する。 ◆黒板に名札を貼り、自分の思いを視覚化する。	・あらすじの資料を読み、内容を確認。 ・ワークシートに記入 ○立っているおじいさんを見て、自分ならどう思うだろう。 ・大変そうだな。・どうしようかな。 ○「どうぞ」が言えなかった時、自分ならどんな気持ちだろう。 ・言えばよかった。・恥ずかしいな。 ○「ありがとう」と言われた時、自分ならどんな気持ちになるだろう。 ・思いが伝わってよかった。・またやろう。 ◎もし、お礼を言われなかったら、また、誰かに親切にすることができだろうか。 ・また、同じように無言でするかも。 ・困っていたら何かしてあげたいな。	展開前半
展開後半	◎もし、手紙が届かなかったら、また困っている人に親切にすることができだろうか。 ・目の前にいたら助けるな。 ・また疑われたら嫌だな。・もうしない ・3人で意見交流をする。	◆他校の児童の考えを紹介する。 ◆黒板に名札を貼り、自分の思いを視覚化する。			○誰にでも親切にするために大切なことはなんだろう。ワークシートに記入後、ホワイトボードに書く。 ・相手のことを思いやること。 ・自分だったらどうして欲しいか考える。	展開後半

	○誰にでも親切にするために大切なことはなんだろう。ワークシートに記入後、ホワイトボードに書く。 ・相手のことを思いやること。 ・自分だったらどうして欲しいか考える。	※黒板を前方へ移動し、見比べられるようにする。					
まとめ	・自分の考えを発表、交流する。 ・他の人の考えを聞いて考えたことをワークシートに追記する。 ・道徳カードに記入 ・マッピングに追記する。 ○今後、どんな場面で生かせそうか考えてみよう。→発表 ☆親切に関わる詩を読む。 ■誰に対しても、思いやりの心を持ち、親切にしたいという気持ちを持つことができた。 ◆自分の考えの広がりを視覚化する。						まとめ

7-1 板書計画(5年生)

キーワード「親切・思いやり」

もし、感謝の手紙が届かなかったら、また困っている人に親切にできる？

できる ← → できる
↑ ↓
できない できない

理由

今日のお話の流れ

- ① 買い物に行ったスーパーで、おばあさんとその孫に出会う。
- ② 孫が通路にあった段ボールを崩し、一人でおもちゃ売り場に行ってしまう、おばあさんが困っている。
- ③ 片付けを手伝う。
- ④ 店員に注意される。
- ⑤ 学校に感謝の手紙が届き、全校朝会で校長先生がそれを読む。

7-2 板書計画(6年生)

誰にでも親切にするために大切なこと

鬼小の友だちの考え

キーワード「親切・思いやり」

もし、お礼を言われなかったら、また親切にできる？

できる ← → できる
↑ ↓
できない できない

理由

8-1 ワークシート(5年生)

5年生道徳ワークシート

「くずれ落ちた段ボール」

名前

◎自分だったら、その場面でどんなことを考えるか、想像して書こう。

①困っているおばあさんを見て、自分ならどんなことを考えるだろう。

②店員に注意された時、自分ならどんな気持ちになるだろう。

③校長先生が手紙を読んでいるのを聞いて、自分ならどう思うだろう。

④もし、手紙が届かなかったら、また困っている人を助けることができるだろうか。

助ける

助けない

理由

⑤だれにでも親切にするために、大切な事はなんだろう。

⑥他の人の考えを聞いて考えたこと、気づいたことを書きましよう。





8-2 ワークシート(6年生)

6年生道徳ワークシート

「心に通じた「すみや」のひまわり」

名前

◎「ほく」の気持ちを想像し、自分だったらその場面でどんなことを考えるか書こう。

①立っているおじいさんを見て、自分ならどう思うだろう。

②「どうぞ」が言えなかった時、自分ならどんな気持ちになるだろう。

③「ありがとう」と言われた時、自分ならどんな気持ちになるだろう。

④もし、お礼を言われなかったら、まだだれかに親切にすることができるだろうか。

したい

できる

したくない

理由

⑤だれにでも親切にするために、大切な事はなんだろう。

⑥他の人の考えを聞いて考えたこと、気づいたことを書きましよう。




8-3 道徳学習カード

道徳学習カード

名前

教材名

日付

① 問いに対し、自分の考えを明確に持ったり、話し合いに積極的に参加したりしましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
② キーワードについて、様々な面から広く見つめたり、自分の考えを深めたりしましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
③ 自分のこととしてとらえ、これまでの考え方を見直したり、新しい考えに気づいたりしましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う
④ 生き方について、自分自身を高めようと目標を持ったりしましたか。	思わない	あまり思わない	そう思う	とてもそう思う

MEMO

8-4 マッピングシート

道徳ワークシート(マッピング)

◎キーワードについて、自分が連想することを自由に書こう。

名前